

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 生活安全部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【重点】犯罪抑止対策の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	刑法犯認知件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9,249	9,157	9,065	9,000
現況値	9,436件／年（2019年）	実績値	7,535	8,007	9,230	9,726
目標値	9,000件／年	達成率	※122.7%	※114.4%	※98.2%	※92.5%
備考		達成度	5	※5	3	※3

## 3 関連する事業名

- 地域の情勢に応じた犯罪抑止対策の推進
- 防犯ボランティア等との連携強化
- 子ども・女性・高齢者をはじめとした人身の安全を確保するための対策の推進
- 国際化支援・広報活動事業
- 犯罪被害者等見舞金給付事業

## 4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

刑法犯の約7割を占める窃盗犯において、「無施錠・無締り」による被害が過半数を占めていることから、新たに作成した鍵かけを呼びかけるキャラクターとキヤッチフレーズを用いて防犯の基本は鍵かけであることを集中的に広報するなどの対策を講じた結果、自動車盜を含めた一部の手口では無施錠による被害は減少したものの、自転車盜や万引き等の発生自体が全体的に増え、刑法犯認知件数は2022年から3年連続の増加となり、目標を達成することはできなかった。
---

## 6 今後の施策推進に向けての課題

窃盗犯のうち、鍵かけにより防止できる自転車盜等の乗り物盜や空き巣等の侵入窃盗が過半数を占めることから、今後も継続して、「鍵かけ」の徹底を県民に広く周知していく必要がある。 引き続き、ボランティア、自治体、民間企業等とも連携・協働した防犯対策を一層推進するとともに、地域住民等による自主防犯活動を促す効果的な広報・啓発等を推進して犯罪の抑止を図るほか、犯罪発生状況の分析に基づく捜査を推進し、検挙率の向上を図る。
--

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 刑事部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【重点】捜査の高度化・科学化等の推進による犯罪の徹底検挙					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	殺人、強盗等の重要犯罪検挙率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
現況値	93.9% (2019年)	実績値	101.0	97.9	100.6	111.1
目標値	100.0%	達成率	101%	97.9%	100.6%	111.1%
備考		達成度	※5	※4	※5	※5

## 3 関連する事業名

- 重要犯罪等の徹底検挙に向けた捜査基盤の高度化事業
- 特殊詐欺等の徹底検挙に向けた捜査基盤の高度化事業

## 4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

事件認知時の初動捜査を徹底するとともに、各種システムを活用したプロファイリング等の犯罪関連情報の分析、DNA型鑑定等の科学技術の活用、最新機器を活用した防犯カメラ画像の解析等を推進したことにより、玉野市宇野地内における強盗致傷事件、倉敷市玉島爪崎地内における持凶器コンビニ強盗事件、井原市高屋町地内における住居侵入・現住建造物等放火事件等を検挙するなど、2024年中の重要犯罪検挙率は111.1%(全国順位第2位)と、目標を達成することができた。
---

## 6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、重要犯罪検挙率100パーセントを達成するため、事案発生時の初動捜査を徹底し、犯人の特定に資する客観証拠の迅速な確保に努めるほか、各種カメラ及びシステムを活用した分析や画像解析技術等を駆使した捜査の高度化、DNA型鑑定等による捜査の科学化を一層推進する。
---

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 交通部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【重点】交通事故防止対策の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	人身交通事故件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	4,100	3,800	3,500	3,300
現況値	4,690件／年 (2019年)	実績値	4,683	4,348	5,161	4,869
目標値	3,300件／年	達成率	※87.6%	※87.4%	※67.8%	※67.8%
備考		達成度	3	3	2	2

## 3 関連する事業名

- ライフステージに応じた交通安全教育の推進
- 交通実態等を踏まえた交通指導取締りの推進
- 安全・安心で人にやさしい交通環境の整備

## 4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

人身交通事故の約2割を占める自転車関係事故の発生を防止するため、県警察に新設した「自転車・小型モビリティ対策係」を中心に、自転車をはじめとする小型モビリティに関する広報・啓発や取締りなどの交通事故防止対策を推進したほか、交通事故発生状況の分析結果に基づいた交通指導取締りを推進した結果、人身交通事故件数は前年対比で292件減少したものの、目標を達成することはできなかった。
--

## 6 今後の施策推進に向けての課題

交通事故発生状況の分析結果に基づいた交通指導取締りのほか、各年代に応じた交通安全教育を推進するとともに、変化する交通実態に応じた交通安全施設の継続的な見直しを行うなど、安全・安心で人にやさしい交通環境の整備に向けた取組を推進する。 また、SNS等の各種情報発信ツールを活用し、多角的な広報・啓発活動を行うなど、県民の交通安全意識や交通ルールへの関心を高める活動を推進する。
---

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 生活安全部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【推進】特殊詐欺対策の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	特殊詐欺の認知件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100	100	100	100
現況値	125件 (2017~2019年の平均値)	実績値	114	159	182	197
目標値	100件	達成率	※87.7%	※62.9%	※54.9%	※50.8%
備考		達成度	3	2	2	2

## 3 関連する事業名

- 幅広い年齢層に対する被害防止広報の徹底
- 金融機関等と連携した水際対策の推進
- 身近な人を守る気運の醸成に向けた取組の推進
- 消費者教育啓発促進事業

## 4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

「だまされんのじゃ特殊詐欺」県民運動を展開する中で、「固定電話対策」を取り組重点とし、防犯機能付き電話の導入や留守番電話機能の活用、発信者番号通知サービス、国際電話の発着信休止手続の利用等といった具体的な対策を呼びかける取組を推進した結果、被害のうち被疑者からの最初の接触方法に占める自宅の固定電話の割合は大きく減少した。 一方で、還付金詐欺や警察官を騙るオレオレ詐欺、副業名目の架空料金請求詐欺の被害が高齢者以外の世代にも拡大したほか、犯人からの最初の接触方法に占める携帯電話への電話やSNSの利用の割合が大きく増加したことなど手口の変化の影響もあり、目標を達成することはできなかった。
---

## 6 今後の施策推進に向けての課題

被害が高齢者以外の世代にも拡大しているほか、被疑者からの最初の接触方法に占める固定電話の割合が5割を下回るなど、手口に大きな変化が見られることから、その特徴を的確に捉えた上、「伝えたい情報を伝えたい相手に確実に届ける」ための広報啓発活動を展開する。 また、「だまされんのじゃ特殊詐欺」県民運動を継続するとともに、取り組重点に「携帯電話の着信時及びSNS等の利用者への注意喚起の広報強化」を加え、携帯電話の着信時にも相手の電話番号を確認することなど、具体的な対策について広報していく。
--

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 生活安全部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【推進】少年非行防止対策の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	小・中・高等学校（義務教育学校、中等教育学校を含む）における非行防止教室の実施率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
現況値	100.0% (2019年)	実績値	68.3	99.7	100.0	100.0
目標値	100.0%	達成率	68.3%	99.7%	100%	100%
備考		達成度	2	※4	※5	※5

## 3 関連する事業名

- 「心と命の教育活動」の推進
- 規範意識向上、再非行防止対策の推進

## 4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

県警察に新設した健全育成対策室が中心となって取組を推進し、対象校に対する非行防止教室の実施率100%を達成したことなどにより少年の規範意識が向上し、刑法犯少年数は増加したもの、2024年中の非行率は3.1人と、14年ぶりに全国ワースト順位で2桁となる「10位」となった。
---

## 6 今後の施策推進に向けての課題

増加する刑法犯少年数に歯止めをかけるべく、従来の学校に加え、フリースクールや通信制高校にも間口を広げ、非行防止教室をはじめとする少年が自ら非行に走らない判断をするための取組を推進するほか、「自転車鍵かけコンテスト」や「SNS広報用動画コンテスト」等、広く少年の規範意識向上に資する各種施策を推進していく。 また、SNS等を介した犯罪被害防止にかかる広報啓発活動や学校等におけるいじめ事案への適切な対応等の少年保護対策も強化していく。
---

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 くらし安全安心課			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【推進】消費者被害の防止等の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	見守り力アップ講座受講者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	360	820	1,280	1,740
現況値	438人（2019年度）	実績値	299	737	1,267	1,650
目標値	1,740人（4年間累計）	達成率	83.1%	89.9%	99%	94.8%
備考	目標値は2021～2024年度の累計	達成度	3	3	3	3

## 3 関連する事業名

- ・消費者行政活性化事業

## 4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

民生委員や市民後見人養成講座受講者など、地域や職域において高齢者等の見守り活動を行っている方々や地域の消費者団体等を対象として、消費者被害防止に必要な基本的な情報や最新事例、見守りのポイントなどに関する出前講座（見守り力アップ講座）を実施することにより、地域における消費者被害への対応力の向上を図ることができた。 令和6年度は、新たに農業大学校でも実施し、若者への啓発を行った。目標値として掲げる受講者数の94.8%の受講者数となった。
---

## 6 今後の施策推進に向けての課題

第4次岡山県消費生活基本計画において、消費者安全確保地域協議会（高齢者等の消費者被害を防止するための地域の見守りネットワーク）を令和7年度末までに10市町村で設置することを目標としていることから、引き続き、見守り力アップ講座の開催により地域の見守り力の向上を図りつつ、各市町村に対しては消費者安全確保地域協議会の設置に向けた働きかけや支援を行う。
---

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 生活安全部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【推進】サイバー空間の安全確保に向けた取組の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	サイバー犯罪被害防止セミナーの受講者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	3,400	3,400	3,400	3,400
現況値	1,874人（2020年）	実績値	2,763	5,112	1,993	3,619
目標値	3,400人	達成率	81.3%	150.4%	58.6%	106.4%
備考		達成度	3	5	2	4

## 3 関連する事業名

- ・サイバーセキュリティ意識向上対策の推進
- ・サイバー犯罪に対する取締りの推進

## 4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

2024年中は、「サイバー犯罪体験型コンテンツ」を活用したセミナーの開催等、効果的な広報啓発活動を推進した結果、参加者から「現在、当社でも情報セキュリティ対策を推進しているところであり、非常に参考になった」等、セミナーの効果を実感する声が寄せられたほか、「主催する会合でセミナーを開催してほしい」等の要望が多数寄せられるなど、県民のサイバーセキュリティ意識の向上が認められるとともに、目標についても達成することができた。
--

## 6 今後の施策推進に向けての課題

県民のサイバーセキュリティ意識の更なる向上のため、引き続き「サイバー犯罪体験型コンテンツ」を活用したセミナーを開催するとともに、情報通信機器の脆弱性を狙った手法等、最新のサイバー犯罪の手口を分かりやすく説明するなどしてサイバー犯罪による被害の防止に努めていく。 また、日々進化するサイバー犯罪の手口に対応できるよう、体験型コンテンツの内容をアップデートしていく。
--

## 2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	警察本部 刑事部			
重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造					
戦略プログラム	暮らしの安全推進プログラム					
施策名	【推進】暴力団をはじめとする組織犯罪対策の推進					

## 2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	暴力団対策法の適用件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	8	8	8	8
現況値	6件(2019年)	実績値	8	8	6	0
目標値	8件	達成率	100%	100%	75%	0%
備考		達成度	4	4	2	1

## 3 関連する事業名

- ・拳銃・特殊犯罪対策の推進
- ・暴力団排除活動推進事業

## 4 施策達成レベル

1.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

中止命令等といった暴力団対策法等の適用には至らなかったが、六代目山口組の分裂に伴う対立抗争に起因するとみられる爆発物取締罰則違反事件等を検挙した。なお、暴力団対策法の適用に至らなかった理由として、池田組と六代目山口組を特定抗争指定暴力団等に指定し、警戒区域の設定を継続したことで活動が制限され、暴力的要要求行為が困難となったほか、不当要求防止に関するポスターの配布、企業等に対する暴力団排除協議会の発足を支援するなどの啓発活動を推進した効果が影響したものと考えられる。
--

## 6 今後の施策推進に向けての課題

対立抗争中の暴力団では、警戒区域における活動が制限されていることを踏まえ、警察の摘発を逃れるため、匿名・流動型犯罪グループ等を巧みに利用して資金源を潜在化させた可能性が認められることから、対立抗争に対する取締りを強化するとともに、各団体の実態解明を推進して潜在的な暴力的要要求行為のあぶり出しや、匿名・流動型犯罪グループ等から暴力団に供給される資金の流れなどの実態解明を推進し、暴力団対策法や暴力団排除条例を適用することで暴力団の壊滅・弱体化を図っていく。
--